## 飯舘村ホームページを更新中

昨年12月にデザインをリニューアルし た飯舘村のホームページに、このたび『イ ベントカレンダー』が追加されました。イ ベント情報が随時掲載されていきますの で、ぜひお役立てください。また、ポータ ルサイトとして、村の歴史・文化やグルメ 情報を紹介する『飯舘YOITOKO発見!サイ ト』、多彩な記事を掲載するウェブマガジ ン『飯舘村の食と暮らし』も新登場。既存の 『移住・定住ポータルサイト』と合わせて ご活用ください。

問村づくり推進課企画定住係 **☎**0244-42-1613



# 7月号から新コーナーが始まります 大舘村と飯曽村が合併して「飯舘 村」が誕生する以前から、この地に 刻まれてきた長い歴史をたどり、毎 回1つのトピックを取り上げて紹 介します。連載は次号7月号からス タートします。どうぞお楽しみに。 写真はイメージで村の資料から

返却をお願い--却されていない 交流センタ-願いします。 いない本につきまして ンターから本を借りて 6しては早める借りて、長くに

の返



八和木集会所にて



佐須、 車こあら号に関 触れても 推進に力を入 心豊かになるよう 書貸出 しくお願 区の れて した。多く は 松塚、 移動図書館 きた 口 ウスにも  $\dot{o}$ 草野、 11 今後 冊

交流センター 交流センタ 「ふれ愛館」だより 図書報告

# いいたて 2 イノサル通信

## 獣害防護柵管理講習会を実施しました!

#### 防護柵が効果を発揮するためには

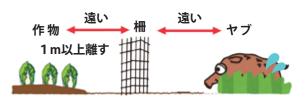
令和5年5月2日に交流センター「ふれ愛館」におい て、村の補助を受け、すでに防護柵を設置している 方々を対象に、主に正しい管理の方法について、講習 を行いました。講師は、福島県避難地域鳥獣対策支 援員が務めました。防護柵は、動物の侵入を防ぎ、農 作物等を守るためには、非常に有効な対策です。しか し、正しく設置し、適正な管理を継続しないと、防護柵 の効果は発揮されません。講習会に参加されなかった 方も、改めて自分の防護柵を確認してみましょう。



5月の講習会の様子

● なぜ農作物被害 が起こるか	<ul><li>イノシシやサルはもともと里(低標高)のいきもの。</li><li>餌や隠れ場所があれば、集落に出てくる。</li></ul>
② 鳥獣の生態	<ul><li>● 生態を誤解し、むだな対策をしていることがある。</li><li>● 動物の習性や能力を知り、効果的な対策をする。</li></ul>
3 対策の考え方	<ul><li>■ 環境整備、被害防除、捕獲を総合的に実施することが大事。</li><li>● 柵は、設置や管理に不備が起きやすい。</li></ul>
◆ 防護柵の設置	<ul><li>柵の種類による違いを理解する。</li><li>対象動物の目線で、絶対に入れない柵にする。</li></ul>
⑤ 防護柵の管理	<ul><li>● 柵の周囲を動物が来にくい環境に整備する。</li><li>● こまめな点検と補修で、柵の効果を維持する。</li></ul>





防護柵の効果を維持するためには、まず、周辺の環境整備が大切です。周囲に廃棄作物を放置して いたり、動物が隠れられるヤブがあったりすると、柵が突破される可能性が上がってしまいます。次に、ワ イヤーメッシュ柵は動物を物理的に防ぐものなので、破損や弱くなった部分をしっかり補修することが大 切です。電気柵は、触った時の痛みにより、動物に嫌な思いをさせ、近寄らないようにさせる心理柵です。 365日24時間、十分な電気を流し、侵入しようとした動物が必ず痛い目に合う状態を保ちましょう。

講習会の資料は村産業振興課の窓口で配布していますので、詳細についてはそちらをぜひご一読く ださい。また、8月には現地実習も含めた講習会も予定していますので、そちらもぜひご参加ください。

イノサル通信は村 の鳥獣対策を支援 する鉄谷さんから のお知らせです。



#### 福島県避難地域鳥獣対策支援員

鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯舘村の鳥獣対策に携わり、 今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

問交流センター「ふれ愛館」 **3** 0244 (42) 007